



As-me ESTELLE

第57期（2015年3月期） 第2四半期決算説明資料

2014年12月

証券コード：7872 東証1部

As-me エステール株式会社



I . 2015年3月期 第2四半期決算概要

1. 第2四半期決算ハイライト
2. 第2四半期決算サマリー
3. 損益の状況
4. 既存店売上高の推移(As-meエステール単体ベース)
5. 財政状態
6. 財務の状況
7. 連結キャッシュ・フローの状況
8. 店舗展開の状況
9. 通期業績予想(連結)
10. 配当実績と予定

1 第2四半期 決算ハイライト

(単位:百万円)

	2013/9 (前第2四半期)	2014/9 (当第2四半期)	前年同期比 増加率	2014/3 (前期)
売上高	15,731	15,984	1.6%	34,421
営業利益	813	47	△94.2%	2,255
経常利益	1,033	△44	—	2,637
当期純利益	564	△302	—	1,661

2 第2四半期 決算サマリー

当第2四半期連結会計期間の業績は、売上高は、当社では客単価の低下などにより、前年同期比で減少しましたが、前第2四半期から連結業績に含めた(株)BLOOMの売上高が当四半期累計期間の通期で寄与し、増収となりました一方、販管費の人件費や賃借料も増加したため、減益となりました。

- 売上高は前年同期比1.6%増。売上高総利益率は概ね前年同期水準を維持。その結果、売上総利益も同0.5%増。
- 営業利益は、販管費の増加により前年同期比94.2%減の47百万円を計上。
- 経常損益は、負ののれんの償却が前期で終了した事もあり44百万円の損失。純利益は、法人住民税の計上により302百万円の損失を計上。

3 損益の状況

(単位:百万円)

	2013/9 (前期)	2014/9
売上高	15,731	15,984
売上原価	6,076	6,278
売上総利益	9,655	9,705
販管費	8,841	9,658
営業利益	813	47
営業外損益	220	△91
経常利益	1,033	△44
特別損益	△72	△78
当期純利益	564	△302

【主な収益変動要因】

■売上高は、客単価の低下等により前年同期比で減少しましたが、BLOOMの売上高の寄与等により前年同期比1.6%増の+252百万円の増加。売上総利益率は60.7%と前年同期(61.4%)と0.7ポイント減少。売上総利益は同+50百万円増加しました。

■消費税増税前の駆け込み需要の反動と天候不順により減退(既存店前年比△4.5%減)。

■販管費は、第1四半期からBLOOMが連結になった影響により、前年同期比+816百万円増加しました。

■主な経費項目の増減は、人件費+465百万円、賃借料+283百万円などです。

■営業利益は、同△766百万円減少。売上高営業利益率は0.3%(前年同期5.2%)となりました。

■営業利益は、販売費の増加などにより、94.2%減少しました。

■営業外損益は、負ののれんの償却(164百万円)が前期で終了したことなどから経常利益は44百万円の損失となりました。

■特別損失の主なものは、店舗の改装による固定資産除却損の増加30百万円と減損損失47百万円。

■当期純利益は、法人住民税均等割りの計上もあり302百万円の損失となりました。

4 既存店売上高の動向 (As-meエステール単体ベース)

既存店売上高増減率(前年同期比)

	上期	下期	通期
2013/3期	106.7%	101.1%	103.7%
2014/3期	102.5%	105.1%	103.8%
2015/3期	95.4%		

5 財政状態

(単位:百万円)

	2014/3 (前期)	2014/9 (当第2四半期)
流動資産	23,979	23,273
固定資産	9,610	9,715
資産合計	33,589	32,988
流動負債	12,651	11,794
固定負債	7,880	8,648
負債合計	20,531	20,442
株主資本合計	12,792	12,545
その他の包括利益 累計額合計	266	337
純資産合計	13,058	12,545
負債純資産合計	33,589	32,988

【主な財政状態の変動要因】

■流動資産は、前期末比△706百万円の減少。

主な科目の増減は、売掛金△717百万円、棚卸資産が同+679百万円の増加(内、BLOOM分 190百万円)。

現預金の同△717百万円の減少です。

■固定資産は、同+105百万円の増加。

有形固定資産が同+59百万円、投資有価証券が同+152百万円、敷金及び保証金の同△113百万円減少が主因です。

■この結果、総資産は同△601百万円減少しました。

■負債合計は、前期末比△89百万円の減少。

主な増加要因は、仕入債務の増加が同+298百万円(内、BLOOM分 38百万円)。

有利子負債の増加が同+283百万円。

一方減少要因は、未払法人税等の同△508百万円の減少と負ののれんが同△163百万円減少したことが主因。

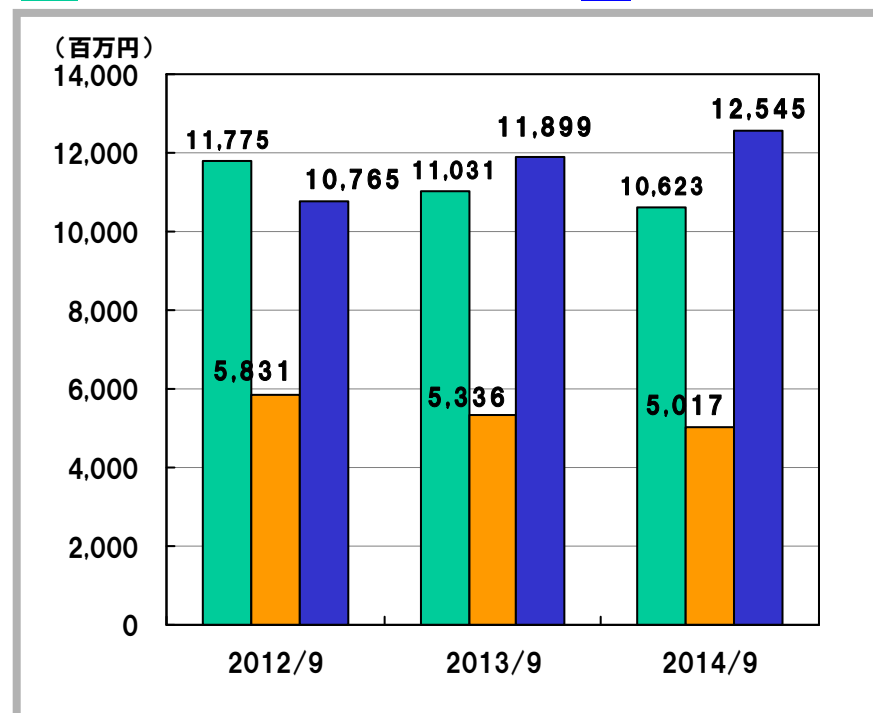
■純資産は、前期末比△513百万円減少。

自己資本比率は、2014/3期とほぼ同様の38.0%。

6 財務の状況

■ ネット借入金と自己資本の推移

借入金 ネット借入金 自己資本



借入金は着実に減少。現預金を控除したネットの借入金も50億円台に。

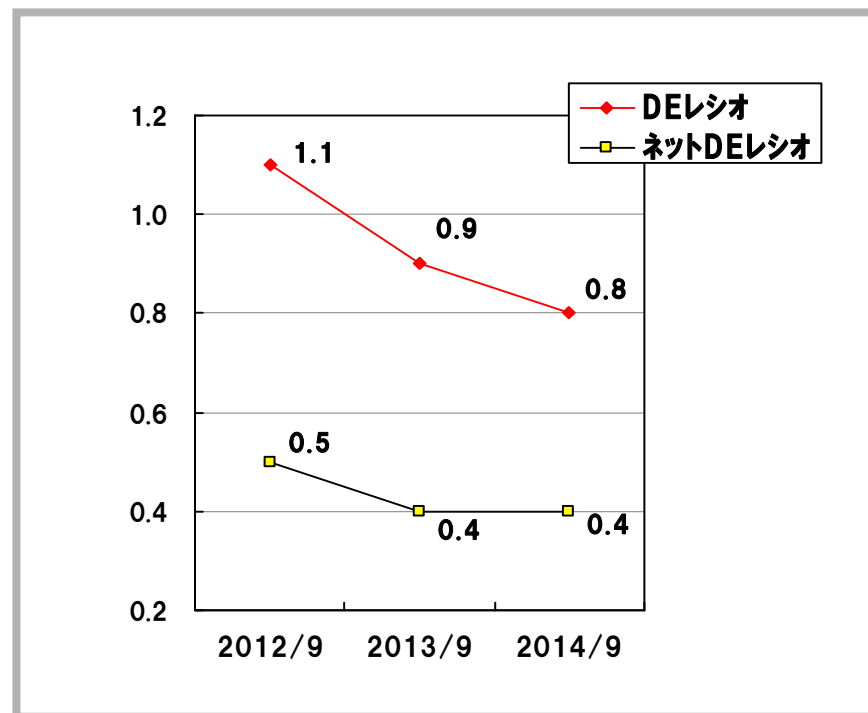
(ネット借入金 = 借入金 - 現預金)

(自己資本 = 株主資本 + その他の包括利益累計額)

■ ネットDEレシオの推移

DEレシオ = 借入金 ÷ 自己資本

ネットDEレシオ = (借入金 - 現預金) ÷ 自己資本



借入金の減少、自己資本の増加を受け、DEレシオも低下続く。ネット借入金ベースで0.4へ。

7 連結キャッシュ・フローの状況

(単位:百万円)

	2013/9 (前第2四半期)	2014/9 (当第2四半期)
営業活動による キャッシュ・フロー	1,111	△255
投資活動による キャッシュ・フロー	△1,331	△433
財務活動による キャッシュ・フロー	△277	△25
現金及び現金同等 物の増減額	△495	△716
現金及び現金同等 物の期末残高	5,395	5,606

【主なキャッシュ・フローの内容】

【営業活動CF】

(資金増加要因)

減価償却費 306百万円

売上債権の減少 717百万円

仕入債務の増加 298百万円 など。

(資金減少要因)

税金等調整前当期純損失 122百万円

棚卸資産の増加 679百万円

法人税等支払額 685百万円

未払金の減少 182百万円 など。

以上により営業活動CFは255百万円の資金減少。

【投資活動CF】

(収入)

敷金保証金の返還 254百万円

(支出)

新規出店、改装等の固定資産の取得 416百万円

子会社(中国現法)に出資 96百万円

敷金保証金の差入 146百万円 など。

以上により投資活動CFは433百万円の支出超過。

【財務活動CF】

借入金の増加 283百万円(純額)

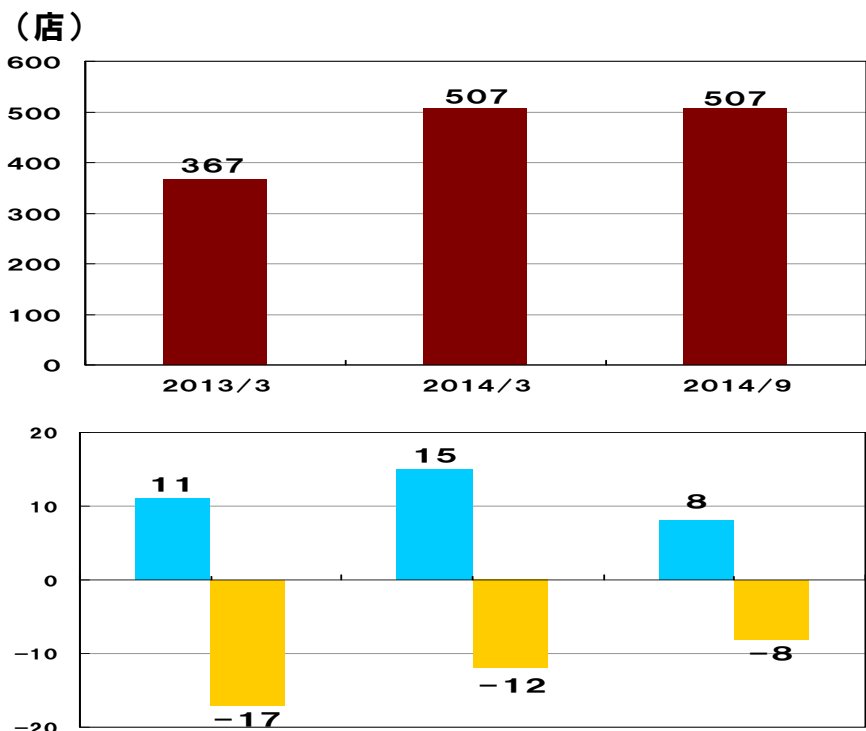
配当金支払 301百万円 など。

以上により財務活動CFは 25百万円の支出超過。

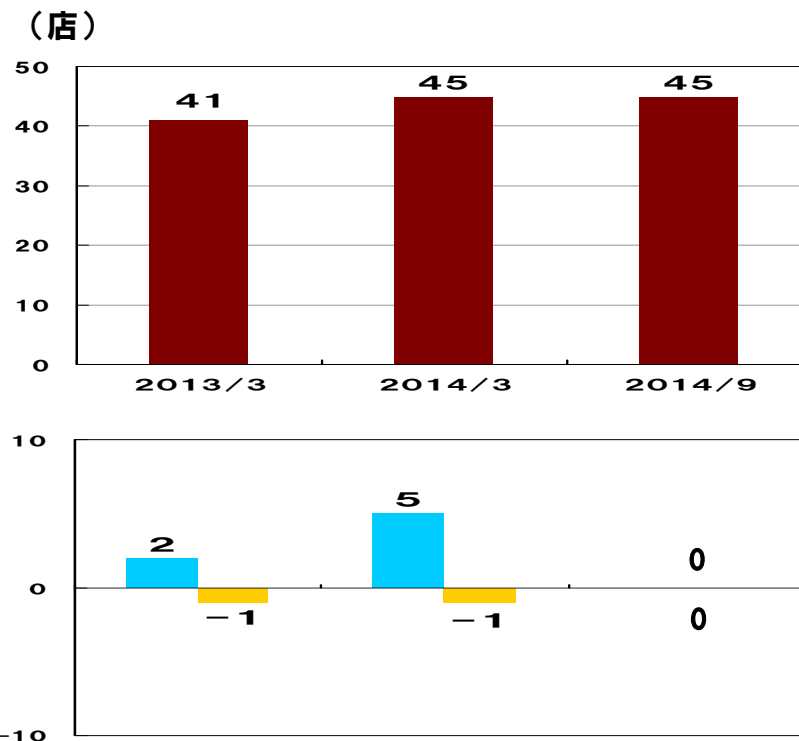
8 店舗展開の状況

宝飾専門店 『As-meエステール+BLOOM』

■ 期末店舗数 ■ 出店 ■ 退店



メガネ専門店 『キンバレー』



(注)1.その他海外店舗(宝飾品) 14店(2014/9末) ・ベトナム10店(ハノイ5店、ニアチャン3店、ホーチミン2店) ・中国3店(杭州1店、上海1店、蘇州1店)
・カンボジア1店(プノンペン)

2.BLOOMは、消化仕入契約に基づく百貨店での販売が114箇所含まれております。

9 通期業績予想(連結)

(単位:百万円)

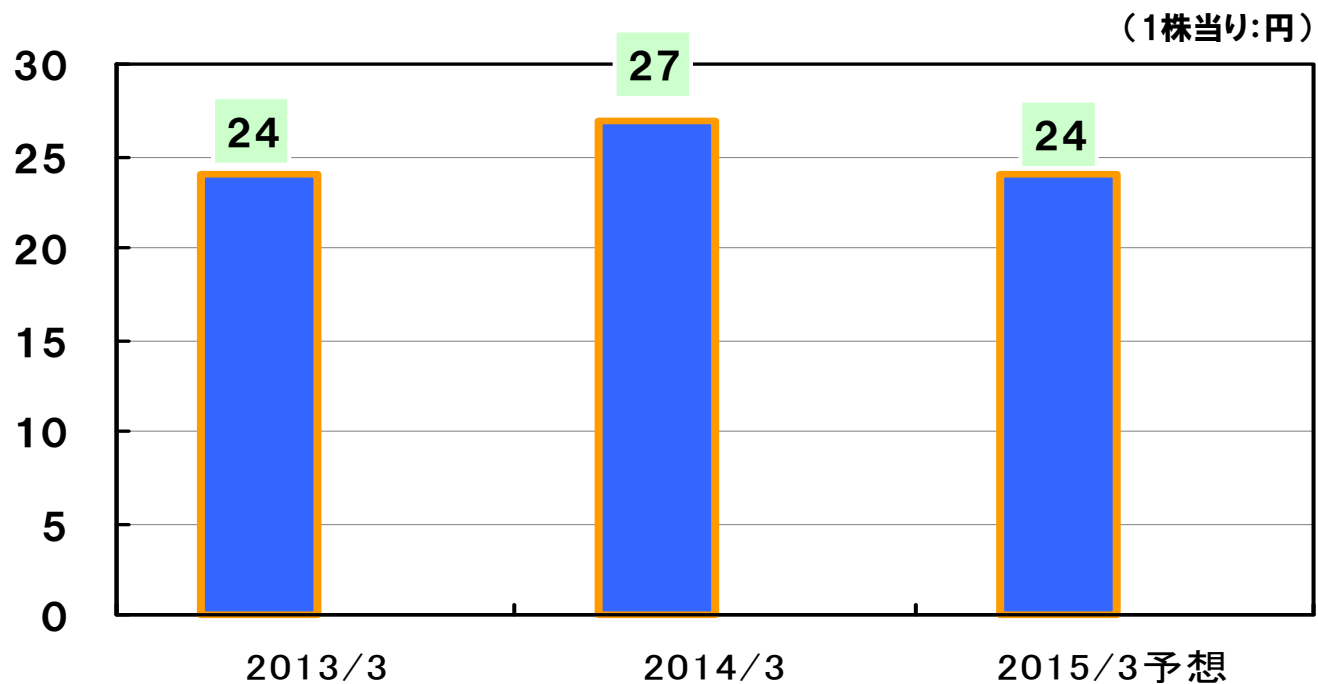
	2014/3	2015/3 (業績予想)	前期比増減率
売上高	34,421	34,450	0.1%
営業利益	2,255	1,350	▲40.2%
経常利益	2,637	1,200	▲54.5%
当期純利益	1,661	730	▲56.1%

■通期の業績予想については、消費税増税の影響もあり、売上高及び売上総利益率が5月に公表した当初予想を下回る見込のため、本年9月に連結業績予想を修正しました。

■店員教育・顧客管理・SPA機能・商品企画を更に充実し、顧客層を拡大するとともに、売上高総利益率の維持・向上を目指します。

■店舗規模は維持しつつ、継続的にスクラップ・アンド・ビルドを行い、収益力の強化を図ります。

10 配当実績と予定



2014/3期の実績は、創業60周年の記念配当3円が含まれております。
今期2015/3期も24円を予定し、株主様への還元に心がけてまいります。

【お問い合わせ先】

As-me エステール株式会社

管理本部

TEL : 03-5777-5120

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。本資料における将来予測に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用下さい。当社は、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めてまいります。当資料記載の業績見通しのみにより全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願い致します。なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製、または転載などを行われぬようお願い致します。